

シンナガサキミーていんぐ開催レポート

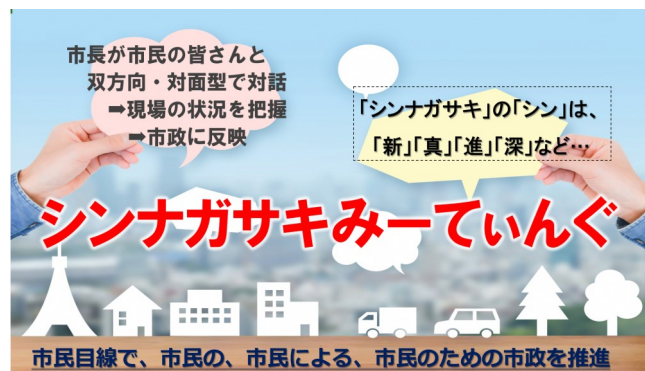
i n 畝刈小学校区

あぜかりこども園の
園児たちが作ってくれ
た市長の似顔絵です！



令和7年7月16日（水）、自治会や育友会、民生委員児童委員協議会、消防団、社会福祉協議会等13人の皆さんにお集まりいただき、畝刈小学校区の「シンナガサキミーていんぐ」を開催しました。

自己紹介では、地域で開催しているさくら祭りや餅つき等のイベントの話、地域の繋がりを考え活動していること等をお話いただきました。



いただいたご意見

①三重地区漁港の情報発信について

三重地区の漁港は全国でも有数の漁港の割に飲食関係が盛り上がっていないので、三重地区の漁港が盛り上がるような発信や仕組み作りも検討していただきたい。

市の考え方
回答

現在、長崎市では、長崎市公式アカウントや各所管課が運用する各種SNSを活用し、三重地域のローカル情報のほか、豊富な農水産物や加工品、長崎漁港がんばんランドや直売所及び新三重漁協の魚、イベント等、地域の魅力を発信しています。

また、北総合事務所地域福祉課制作の三重・外海・琴海地区のPRビデオを地域センターや道の駅夕陽が丘そとめで放映しているほか、三重地域センターのホームページに掲載しており、長崎駅には北部地区の魅力を詰め込んだパンフレット（Meet Kita）を設置しています。

今後も、「長崎の魚の魅力」という視点も大切にし、市民の方だけでなく、市外の方も含めて、より多くの方に知っていただき、地域が盛り上がるような情報発信を行っていきます。

なお、三重地区の漁港については、長崎県が管理しているため、県にもこのご意見を共有させていただきます。

②三重地区について

市長から見て三重地区はどのように見えていて、どこを頑張って欲しいと考えているのか教えて欲しい。

回答

魚の町というイメージが長崎市内の中でも強いと思うので、魚という強みを生かして町の活性化を図るといいと考えています。また、ペーロンも三重の魅力として押し出していけると思うので、三重でペーロンを体験したいという人たちが地域の外からでも出てくるといいと考えています。加えて市内では比較的子供が多い町という長所も生かしながら、子供中心の町づくりができればいいと考えています。

市では長崎市魚市場で開催される「さかな祭り」のPRや開催費を一部負担し、開催への協力や「ときめき伊勢海老パラダイス」「歳末大感謝祭」の共催（新三重漁協）を通して魚食普及や水産物の消費拡大を図っております。特に「さかな祭り」では、魚すくいや模擬セリ等子供向けのイベントが多くあり、魚×子供という町の長所を活かしたイベントが行われています。

なお、地域の伝統芸能や行事は関係者と相互に協力しながら、SNSや「広報 三重地域センター」にて魅力をPRしております。

今後も多くの方に知っていただけるよう情報発信し、地域を盛り上げたいと考えております。

③三重地域センターの所在地について

三重地域センターを三重、鳴見台、畝刈の中心に移動させて欲しい。

市の考え方

回答

老朽化が進む三重地域センター庁舎の今後のあり方について、地域の意見を聞きながら検討を行っています。

④公園の施設整備について

地域の子供たちのために、公園にスケートボード場などの設備を新たに設置してほしい。

市の考え方

回答

子供たちの遊び場の話は様々な地域でお声をいただいております。長崎市としても、市が所有する施設をどのように活用するか、民間企業の方にもご協力をいただきながらいろいろな形でこどもの遊び場を確保できるように考えていきます。

市内の公園においては、スケートボードのようなスポーツができる設備として、バスケットゴールを設置している公園がありますが、設置にあたっては騒音や防犯等の観点から、地域の皆様のご理解が必要不可欠です。

今後も公園内の新たな遊具等の施設の設置にあたっては、自治会等の地域の皆様のご意見を聞きながら進めてまいります。

そのほか、「子供の勉強する場所を作って欲しい」、「地域の移動手段を確保して欲しい」等のご意見をいただきました。いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長のひと言

畝刈小学校区の課題や魅力を聞くことができました。様々な地域の課題があること、皆さんが何とか課題を克服し、次の未来に繋げようとする思いを感じました。長崎市としてもその思いにこたえ、長崎のまちが今以上に住みやすいまちになるようにしっかりと取り組んでいきます。



参加者からの感想

色々な立場の人の意見が聞けて良かった。

地域の意見を伝えることが出来て良かったと思う。

今後も続けて欲しい。意見に対してのアンサーや行動結果がわかると思う。

伝統であるペーロンについて、鈴木市長へ話すことができ、良い機会、経験になった。

